

給水装置工事施行基準新旧対照表（案）

改正（案）

現行

1.6 量水器

1 量水器

- 1) 原則として、配水管等からの給水管分岐部に最も近接した宅地内で、道路と宅地の境界線から2.0m以内に設置すること。
- 2) 設置位置が確認でき、点検及び交換等が容易に行うことができる場所に設置すること。
- 3) 凍結、外傷、衝撃等による損傷又は異常を生じるおそれのない場所に設置すること。
- 4) 台所、便所、物置等の周辺あるいは家屋の裏側は避け、汚水等が入り難い乾燥した場所に設置すること。
- 5) 地中に設置する場合は、量水器管又は同室内に設置すること。
- 6) 量水器を建築物内に設置する場合は、凍結防止、交換作業スペースの確保、取付高について考慮すること。
- 7) 給水用具より低い位置に設置すること。
- 8) 受水槽以下装置で各戸検針を行う場合は、給水装置の量水器（親メーター）を設置しないことができる。）

2 量水器管又は同室

量水器管又は同室の形状は、次の表のとおりとする。

表 2.6.1 口径 40mm 以下の量水器の量水器管の形状

量水器 口径	量水器管の材質・形状					逆止弁を同一管内に設置する場合
	铸铁製 特大 T=6	特大	樹脂製 大	特大	FRP製 超特大	
13mm	○	○	○	○		樹脂製 特大 を使用すること。
20mm	○	○	○	○		樹脂製 特大 を使用すること。
25mm	○	○		○		FRP製 超特大 を使用すること。
40mm					○	

注) ○のあるものを使用すること。

量水器の設置する場所は、外傷、衝撃等による損傷又は異常を生じるおそれのない場所に設置しなければならないが、やむを得ず車両が載るなど荷重のかかる場所に設置する場合は、铸铁製 T-6 を使用すること。

なお、各種メータユニットについては、「集合住宅等におけるメータユニットの取扱い」による。

表 2.6.2 口径 50mm 以上口径 150mm 以下の量水器の量水器室（大型メータユニット）の形状（単位：mm）

量水器口径	量水器室（大型メータユニット）					鉄 蓋		
	各部共通		上部	中部	下部	L	W	H
	L	W	H					
50mm、75mm	850	580	540	-	300	844	574	100
100mm、150mm	1200	650	400	375	300	1194	644	100

2.6 量水器

1 量水器

- 1) 原則として、配水管等からの給水管分岐部に最も近接した宅地内で、道路と宅地の境界線から2.0m以内に設置すること。
- 2) 設置位置が確認でき、点検及び交換等が容易に行うことができる場所に設置すること。
- 3) 凍結、外傷、衝撃等による損傷又は異常を生じるおそれのない場所に設置すること。
- 4) 台所、便所、物置等の周辺あるいは家屋の裏側は避け、汚水等が入り難い乾燥した場所に設置すること。
- 5) 地中に設置する場合は、量水器管又は同室内に設置すること。
- 6) 量水器を建築物内に設置する場合は、凍結防止、交換作業スペースの確保、取付高について考慮すること。
- 7) 給水用具より低い位置に設置すること。
- 8) 受水槽以下装置で各戸検針を行う場合は、給水装置の量水器（親メーター）を設置しないことができる。）

2 量水器管又は同室

量水器管又は同室の形状は、次の表のとおりとする。

表 2.6.1 口径 40mm 以下の量水器の量水器管の形状

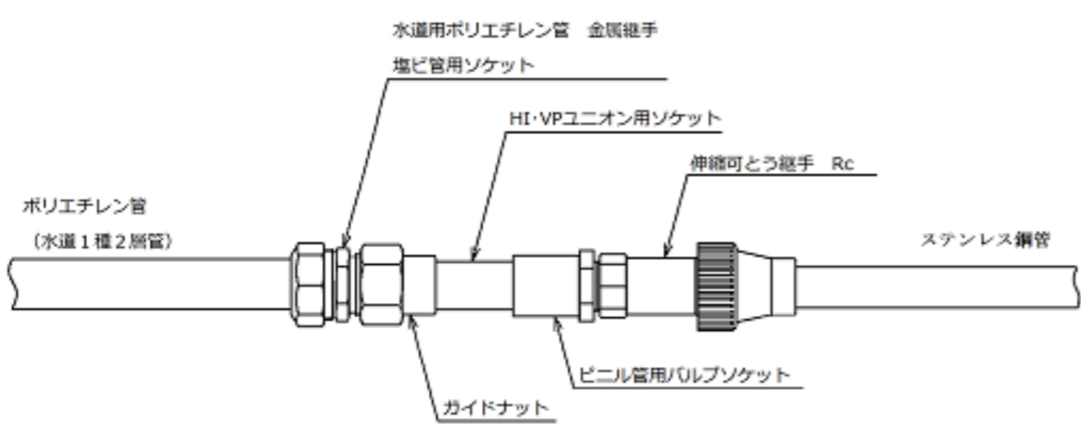
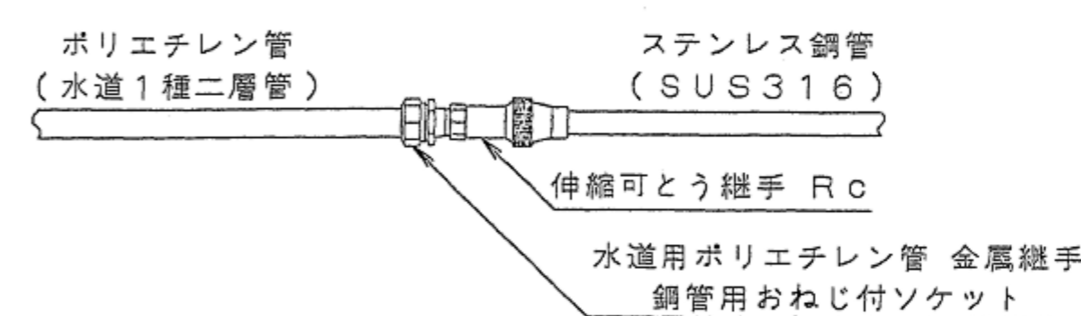
量水器 口径	量水器管の材質・形状					逆止弁を同一管内に設置する場合
	铸铁製 大	特大	樹脂製 大	特大	FRP製 超特大	
13mm	○	○	○	○		樹脂製 特大 を使用すること。
20mm		○	○	○		樹脂製 特大 を使用すること。
25mm		○		○		FRP製 超特大 を使用すること。
40mm					○	

注) ○のあるものを使用すること。

表 2.6.2 口径 50mm 以上口径 150mm 以下の量水器の量水器室（大型メータユニット）の形状（単位：mm）

量水器口径	量水器室（大型メータユニット）					鉄 蓋		
	各部共通		上部	中部	下部	L	W	H
	L	W	H					
50mm、75mm	850	580	540	-	300	844	574	100
100mm、150mm	1200	650	400	375	300	1194	644	100

給水装置工事施行基準新旧対照表（案）

改正（案）	現行
<p>7 ポリエチレン管（1種2層管）との接合は、図3.5.6に示すとおりとする。</p> <p>図3.5.6</p> <p>1) ステンレス鋼管との接合</p>  <p>The diagram shows a cross-section of a proposed connection. On the left is a polyethylene pipe (PE pipe, 1-type 2-layer pipe). It is connected to a stainless steel pipe (SUS316) via a series of fittings. From left to right, the components are: a guide nut (ガイドナット), a HI-VP union socket (HI・VPユニオン用ソケット), a metal joint (金属継手), a polyethylene pipe metal joint socket (水道用ポリエチレン管 金属継手 塩ビ管用ソケット), a vinyl pipe barb socket (ビニル管用バリブソケット), and an expansion joint (伸縮可とう継手 Rc).</p>	<p>7 ポリエチレン管（1種2層管）との接合は、図3.5.6に示すとおりとする。</p> <p>図3.5.6</p> <p>1) ステンレス鋼管との接合</p>  <p>The diagram shows a cross-section of the current connection. On the left is a polyethylene pipe (PE pipe, 1-type 2-layer pipe). It is connected to a stainless steel pipe (SUS316) via an expansion joint (伸縮可とう継手 Rc) and a metal joint socket for polyethylene pipe and metal joint for steel pipe (水道用ポリエチレン管 金属継手 鋼管用おねじ付ソケット).</p>